



悪に住人

永田 円了

神は人間に善も悪も与えた。 善は脚光を浴び、一方悪は闇に葬られる。
全ての人の闇に潜む悪、私たちはこの悪に住人とどう向き合えばいいのか

神の素顔

神さまは、人間に本能を与えた。 そして神さまは、自らの楽しみのために、逆の掟を人間に押しつけた
“見ろ”、だが触れるな。 “触れろ”、だが味わうな。 “味わえ”、だが飲み込むな
人間が右往左往しているのを見て、神は上で腹をかかえて笑っているのだ。

神はサディストだ！ 映画『ディアボロス』より

悪のささやき

私(悪)は、人間のあらゆる欲望を刺激して、全てを与えてやった。 どんなものを欲しがっても、断罪しなかった。
何故か、 それは、不完全な人間をまるごと受け入れたからだ。 欠点だらけの人間のファン
だからだ。 私は人類最後のヒューマニストだ。 20世紀は私(悪)に時代だった。
今世紀の繁栄は、全部私(悪)のお陰だった。 映画『ディアボロス』より



Fyodor Dostoevsky

なぜ、ドストエフスキーが人の心をとらえるのか。

小説『カラマーゾフの兄弟』が、40万部売れている。

金原ひとみ、ドストエフスキーを語る

小説を書くとき、全人類が幸せであればいいのに、という気持と、
破壊的な、世界が崩壊すればいいのに、という気持が戦うところがある。
本能的に悪を求める気持が人間の中にある。

加賀乙彦、ドストエフスキーを語る

悪をとことん突き詰めると、神が出てくる。 神の世界を描こうとすると、悪を描くのが一番いい。 神は悪魔を造った。
悪魔を造ることによって人間は苦しむ。 しかし、その苦しみの中で、信仰というものが善を産み出す。

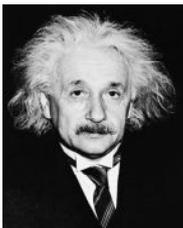
森 達也、ドストエフスキーを語る

オーム信者たちは善良でやさしい。 では、なぜ善良でやさしい彼らが
ザリンをまいたのか。 戦争はなぜ起こるのか。
知らない人が恐くなるから怒る —— 恐れ。



法廷にて、

“立ちたくならなきゃ、立たねえだ” 皆父の死を望んでいた、毒蛇が毒蛇を食おうとしている。
悪の種があるから、 悪の花が咲く。 『カラマーゾフの兄弟』より



悪に住人との向き合い方

The only thing to get out is through.

自分の闇と対面するとき、その闇から逃げないことです。 その闇の中に入って抜けること、それ以外に方法はありません。 —— アインシュタイン